児童に見られるつまずき

　登場人物の気持ちや出来事について、想像を広げながら読むことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　動作化により言動と気持ちを結び付ける活動を通して、立場による感じ方の違いや自分の経験との関連を意識しながら、言動につながる気持ちについて考えられるようにする

指導事例集ｐ．８９

１　学年・単元名　第２学年　音読げきをしよう

『お手紙』（読むこと）

２　単元目標

　・自ら読み取ったことや考えたことを意欲的に書いたり話したりして、周囲と積極的に交流しようとする。　　　　　　　　　　　　　　　　（関心・意欲・態度）

　・人物の気持ちや行動を想像し、物語の場面の様子が伝わるように音読することができる。　　　　　　　　　　　　　　　 （関心・意欲・態度）（読むこと・ア）

　・人物の気持ちを場面ごとに読み取り、全体を通して、気持ちがどのように変化したかを読むことができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　（読むこと・ウ）

　・物語が主に主語と述語で構成されていることを知り、主語と述語の関係を理解することができる。　　　　　　　　　　　　　　　　（国語の特質に関する事項）

３　本時の目標

　　　・繰り返し出てくる、「かたつむりくんは、まだ　やって来ません。」という文におけるかえるくんの気持ちの変化を考えることで、そのかえるくんの様子に表れている想いの強さをきっかけに、がまくんのあきらめかけていた気持ちが揺れ始めたことを読み取ることができる。

４　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| １　前時までの学習の振り返りをする。  （１）「ふたりとも」が悲しい気持ちになったわけは何だったか。  （２）手紙を待つかえるくんに対して、がまくんが思っていることは何か。  （３）手紙なんてもう来ないと感じているがまくんは、そのままあきらめてしまったかな。  ２　本時のめあてを確認する。  あきらめかけていたがまくんのこころが、少しだけうごいたわけを考えよう  ３　本時で取り扱う部分を音読する。  　　・Ｐ１２，１行目～Ｐ１５，１行目  ４　がまくんのこころが少し動いたわけを話し合う。  （１）がまくんの気持ちについて  　　・誰も手紙なんて出すはずがない。  　　・ちょっと怒っている。  　　・「手紙が来るかも」なんて、変なこと言うなあ。  　　・なんで、窓の外をずっと見ているんだろう。  （２）かえるくんの気持ちについて  　　・自分が手紙を出したと言いたいけど、我慢している。  ・何度も外を見て、そわそわしている。  　　・まだ来ないのかな。  　　・がまくんに、起きて手紙を待っていてほしい。  　　・「まだ、やって来ないのか」という想いが強くなっている。  　（３）がまくんの心が少し動いたわけを考えよう。  　　・何度も窓の外を見るかえるくんを不思議に思ったから。  　　・かえるくんが「手紙をくれるかもしれないよ」と言うから。  　　・かえるくんが郵便受けを見てそわそわしているから。  ５　気持ちを確認したうえで、確認読みをする。 | ○がまくんがお手紙を一度も貰ったことがないという理由によって、悲しい気持ちになっていることをおさえる。  ○がまくんを想う優しい気持ちが、かえるくんの行動につながっていることに着目する。  ○手紙を待つことを「飽き飽きした」「うんざりした」「みじめだ」「もう嫌だ」などと、否定的に感じているがまくんの気持ちをおさえる。  ワークシート③～⑤使用  ○めあてを意識して読むように声掛けをする。  **○前時に自分の考えをまとめたワークシートを用いて、気づいたことを発表できるようにする。**  ワークシート⑤使用  ○「×××（叙述）のところから～」と、叙述に沿って、考えたことを発表するようにする。  ○「かたつむりくんは、まだ　やって来ません。」に着目させ、全部同じ気持ちかどうかを考えさせる。  ○会話文やかえるくんの行動を表す文からも考えるように助言する。  **○かえるくんの様子について動作化をすることで、かえるくんの視点で気持ちを考えやすくしたり、繰り返される行動にかくれている気持ちをとらえやすくしたりする。**  ○再度、がまくんの心が動いたと分かる叙述を全体で確認してから、自分の考えをワークシートに記入する。  ワークシート⑤使用  ○かえるくんの様子に表れている想いの大きさによって、がまくんの気持ちが動いたことをおさえる。  ○かえるくんの想いの高まりが表れるように音読するように声を掛ける。 |